

患者さまへ

「救急外来と集中治療室で挿入されたカテーテル関連血流感染症の発生状況」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2024年4月～2025年3月に当院救急外来または集中治療室で中心静脈カテーテルまたは動脈内カテーテル挿入を受けられた方
2 研究目的・方法	重症な患者さまには、治療および集中治療管理目的に中心静脈カテーテルや動脈内カテーテルを挿入させていただくことがあります。この処置自体は必要な処置ですが、時として挿入した部分から感染症を起してしまうことがあり、これをカテーテル関連血流感染症と呼びます。救急外来で挿入するような状況では、患者さまの状態は切迫しており、フロア内も混雑している状況などから、救急外来で挿入したカテーテル類は集中治療室で挿入されたカテーテル類よりも感染症発症率が高い可能性があります。そこで、今回は院内の救急外来と集中治療室で挿入されたカテーテル類によるカテーテル関連血流感染症の発症状況を調べる方針としました。 研究の期間：施設院長許可後（2025年8月予定）～2027年3月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、身長、体重、BMI（ボディマス指数）、既往歴、診断名、集中治療室滞在日数、カテーテル挿入部位、カテーテル挿入期間、カテーテル関連血流感染症の有無等
5 個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 湘南鎌倉総合病院 救急総合診療科・集中治療科 鱧口清満 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 連絡先：0467-46-1717